

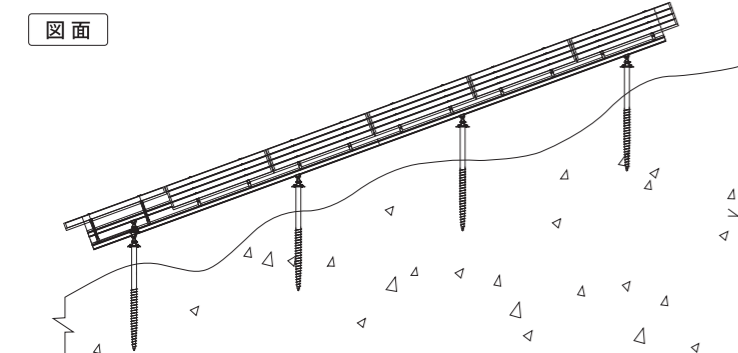
# 未造成地対応架台

# ドコデモ架台



凸凹の土地や傾斜地に最適

そのままの土地を利用して、造成開発が必要なく、現状の敷地にそのままソーラーが設置出来る架台です。



開発の問題がある土地・・・多額の造成費用がかかる・・・など、このような土地でも太陽光発電システムを設置する方法を考えました。大きな機械が入れない現場へ盛土や切土をすることなく、現状敷地のままで設置できます。写真や図面をお見せいただければ設計のご提案いたします！

# 手動型角度調節架台

# チェンジ君



意匠権取得

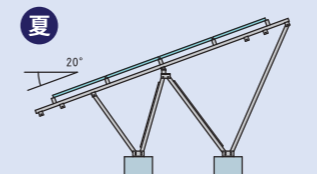


季節ごとに角度を変えて発電量UP!

柱の位置を変えるだけで！  
手で簡単に傾斜角度を変えられます。

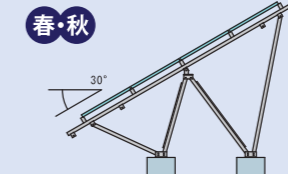
## 季節発電量UPタイプ

夏



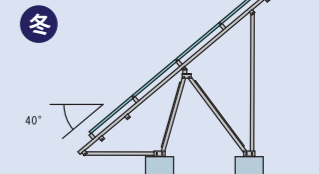
太陽が高い夏は太陽光パネルの角度を緩くして最大発電量を狙う。

春・秋



春・秋は太陽光の入射角と太陽光パネルが直角になるようにセットする。

冬

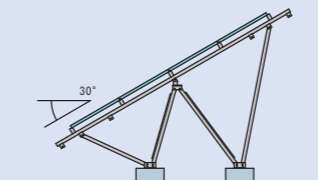


冬の太陽の高さは低い為、太陽光パネルの角度を40°以上にする事で発電効率をUP。積雪対策にも有効である。

## 積雪対策タイプ

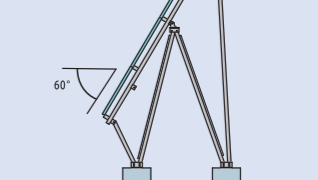
春・夏・秋

春・夏・秋は30°



冬はなんと60°にチェンジ

冬



豪雪地域で数メートル積もる地域でも、この架台は雪の中に埋もれさせるという新発想。次の春を待つふきのとうのような商品です。